

“そのままの水道水”を飲料水にしているのは、約半数
記録的な猛暑、9割以上が「こまめな水分補給」で熱中症対策
 ～飲料水の都市伝説を発見 飲んでいる水で出世できるかどうか分かる!?～

株式会社プラネット(所在地:東京都港区、代表取締役社長:田上正勝)は、消費財にまつわるトピックスをお届けする「Fromプラネット」の第17号として、飲料水(ミネラルウォーター)と熱中症に関する意識調査の結果をご紹介します。

■やはり、熱中症は怖い……。夏場、2人に1人は対策している

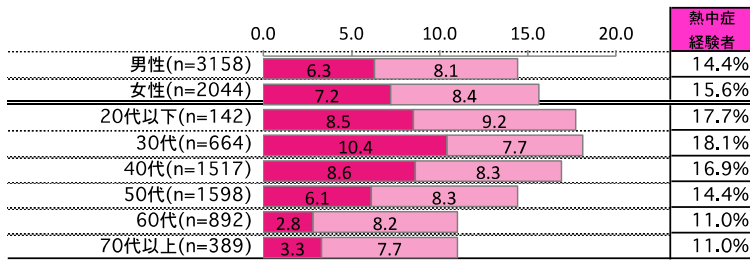


表1:「あなたは今までに熱中症になったことがありますか」についての回答

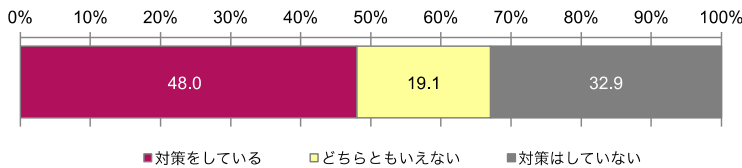


表2:「あなたは、夏などの暑い時期に熱中症対策をしていますか」についての回答

夏の暑さが厳しい日本列島。この時期に注意したいのが、熱中症です。すでに、熱中症の疑いのある高齢者が死亡する事故も報道されており、日々の予防や対策が重要になってきています。

そこで今回は、飲料水(ミネラルウォーター)と熱中症に関するアンケートを実施。まずは、熱中症になったことがあるかについて質問しました。性・年代別にみると、意外にも、1回でも経験のある人が20代以下や30代と若い世代に多いことがわかりました。熱中症になる人は、高齢者や子どもが多いイメージですが、それ以外でも、屋外で働く人、キッチンで火を使う人、屋外でスポーツする人も特に注意が必要と言われています。

また、夏場に熱中症対策をしていますかとの質問には、2人に1人が「対策をしている」と回答。

出典:インターワイヤード株式会社が運営するネットリサーチ『DIMSDRIVE』実施のアンケート「飲料水(ミネラルウォーター)と熱中症」。
 調査期間:6月23日～7月3日、DIMSDRIVE モニター-5,635人が回答。表3～表6:エピソードの出典も同アンケートです。

■熱中症対策といえば、何をおいても水分補給

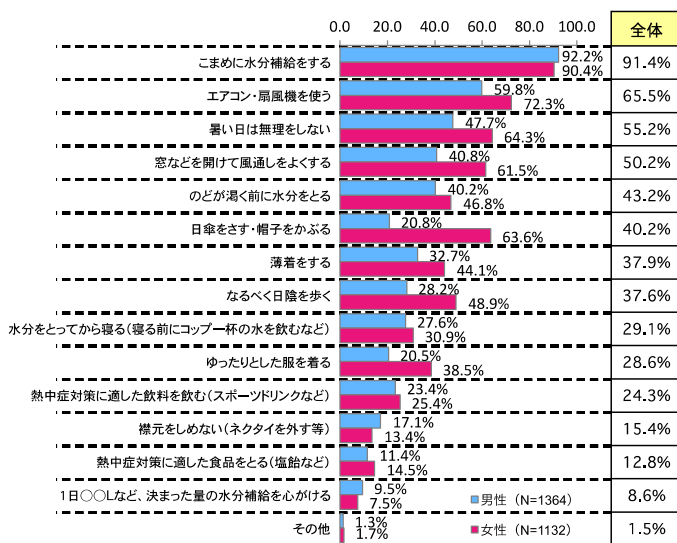


表3:「どのような対策をしていますか」についての回答

では、どんな熱中症対策をしているのか、その方法について聞いてみました。

大多数の人が回答したのは「こまめに水分補給をする」91.4%でした。熱中症にならないためには、喉が乾いていなくてもこまめに水分補給をすることが重要と言われています。次いで「エアコン・扇風機を使う」が65.5%、「暑い日は無理をしない」55.2%という回答が得られました。男女で差があったものは「日傘をさす・帽子をかぶる」の回答。女性の回答率が40パーセント以上男性の回答を上回っていました。

少数派ですがユニークな回答は、「熱中アラームを持って外出する」というもの。熱中アラームは、暑さ指数(WBGT)や湿度などが計れる熱中症指数計。屋外での活動が多い人は利用する価値がありそうです。また、「ゴーヤカーテンを作る」という、エコな熱中症対策で夏を乗り切るという意見もありました。

■ 飲料水事情から見たのは、地方の豊かさ。そして、出世の秘訣!?

	男性 n=3158	女性 n=2044
水道水そのまま（浄水器を通してない）	45.0%	47.3%
水道水（蛇口につけるタイプの浄水器）	18.8%	18.7%
水道水（据置型の浄水器）	15.7%	16.6%
水道水（ブリタなどのポット型浄水器）	5.0%	4.2%
ウォーターサーバー（アクアクラやコスモウォーターなど）	4.2%	4.0%
ミネラルウォーター（ペットボトル）	24.6%	23.1%
ミネラルウォーター（上記以外）	1.8%	1.7%
スーパーなどの純水装置	5.9%	4.7%
井戸水	1.6%	1.6%
湧き水	1.2%	1.3%
その他	1.4%	1.7%

ほとんどの人が熱中症対策に水分補給を心がけていることがわかったところで、自宅で飲んでいる飲料水は何かを聞きました。

すると、45.0%の人が「水道水そのまま」飲んでいるという意外な結果がでました。次いで多かったのは、蛇口に付けるタイプや据え置きタイプ、または濾過タイプなど、何らかの浄水器を通した水道水を飲んでいる人で39.5%。そして、市販のミネラルウォーターを飲んでいる人は、26.4%でした。

表4:「ご自宅での飲料水はどれですか。」についての回答

上の回答を地域別に分析したところ、水道水をそのまま飲んでいる人が多い地域は、「北陸」地方67.0%、「甲信越」地方61.6%、「北海道」58.4%となりました。北陸地方の人は、3人に2人が水道水を愛飲していることとなります。この調査から、水源環境のいい地方では、水道水をそのまま飲んでいる人が都会の人に比べて圧倒的に多いことがわかりました。また、水道水をそのまま飲まない地域は、やはり「関東」地方で38.6%。同時にミネラルウォーターの利用率も全国で一番高く、29.7%でした。

	水道水そのまま（浄水器を通してない）	水道水（蛇口につけるタイプの浄水器）	水道水（据置型の浄水器）	水道水（ブリタなどのポット型浄水器）	ウォーターサーバー（アクアクラやコスモウォーターなど）	ミネラルウォーター（ペットボトル）	ミネラルウォーター（上記以外）	スーパーなどの純水装置	井戸水	湧き水	その他
北海道	58.4	19.3	6.0	2.6	2.1	18.5	1.7	6.4	0.9	3.9	1.3
東北	57.7	15.0	11.0	2.0	4.9	19.1	1.6	7.3	4.1	0.4	1.2
甲信越	61.6	12.6	9.3	4.6	4.0	19.9	0.0	2.6	1.3	2.6	1.3
関東	38.6	22.5	17.9	5.6	4.8	29.7	2.0	5.5	1.2	0.1	1.0
東海	50.9	15.6	13.1	5.1	4.2	18.9	1.5	9.3	1.7	0.8	1.3
北陸	67.0	5.5	9.2	4.6	3.7	12.8	0.0	2.8	4.6	4.6	1.8
近畿	44.1	15.9	17.8	5.6	3.2	24.9	1.6	4.8	0.8	1.4	2.2
中国	52.3	18.3	15.1	1.4	2.8	15.6	1.4	2.8	3.2	2.3	1.8
四国	57.9	11.6	13.2	3.3	2.5	17.4	1.7	11.6	3.3	2.5	0.0
九州・沖縄	40.3	19.0	14.6	5.7	5.7	19.4	3.5	7.0	2.2	5.1	2.9

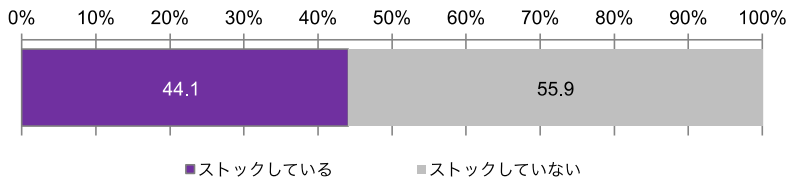
また、参考までに職業別の飲料水事情を見てみましょう。

注目したいのは、会社役員や経営者といった富裕層のデータです。これらの人々は水道水をそのまま飲むことに抵抗があるようで、33.1%と他の職業の人よりも圧倒的に低い数値となっています。同時に、ミネラルウォーターの使用率が30.6%で1位。ウォーターサーバーの使用率に至っては、全体の4.2%を大きく上回る10.0%と高い利用率でした。

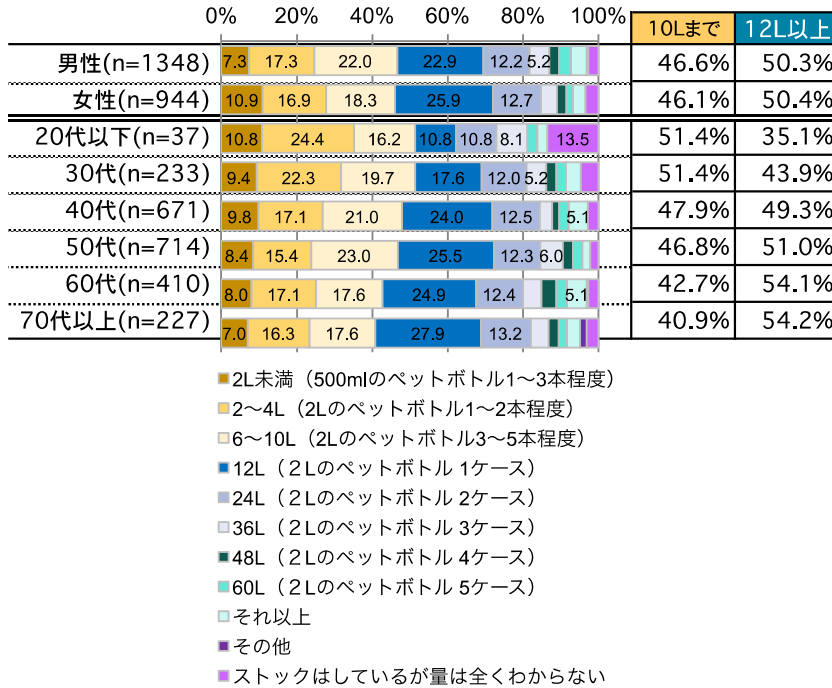
このデータから言えるのは、“出世する人ほど飲料水にもこだわっている”。飲料水に出世の秘訣があるのかもしれない。

	水道水そのまま（浄水器を通してない）	水道水（蛇口につけるタイプの浄水器）	水道水（据置型の浄水器）	水道水（ブリタなどのポット型浄水器）	ウォーターサーバー（アクアクラやコスモウォーターなど）	ミネラルウォーター（ペットボトル）	ミネラルウォーター（上記以外）	スーパーなどの純水装置	井戸水	湧き水	その他
会社役員・経営者	33.1	15.6	24.4	6.9	10.0	30.6	1.9	3.8	2.5	1.3	0.6
会社員	42.7	20.6	16.3	5.1	4.5	25.7	1.4	4.7	1.2	1.0	1.4
自営業	51.9	19.5	14.6	4.9	4.0	22.0	2.7	5.3	3.4	1.9	1.1
パート・アルバイト	47.8	17.4	11.9	5.1	3.8	22.1	2.7	7.6	1.8	1.0	1.4
公務員	48.9	16.7	16.7	3.3	2.8	25.0	1.1	3.9	2.2	1.1	0.0
専業主婦（主夫）	39.3	19.5	18.4	5.5	4.5	25.5	1.2	7.9	1.2	1.3	1.7
学生	44.4	33.3	0.0	11.1	5.6	16.7	5.6	11.1	0.0	0.0	0.0
定年退職	48.7	18.1	18.3	4.5	4.0	22.6	2.3	4.3	1.5	0.8	1.3
無職	52.8	14.2	10.8	3.4	2.6	22.8	1.1	6.3	1.5	1.9	1.3
その他	42.9	17.3	12.8	6.0	1.5	29.3	4.5	12.0	0.8	1.5	6.0

■地震大国・日本の課題。水の備蓄には“少々のおんき”という現状



みんなの飲料水事情がわかりましたが、水道水が出ない……、こんな状況を想像したことはありますか？ 東日本大震災以来、非常時の飲料水への意識が、シビアになったような気がします。そこで、天災時の水不足に備えて、飲料水をストックしているかどうかを聞きました。

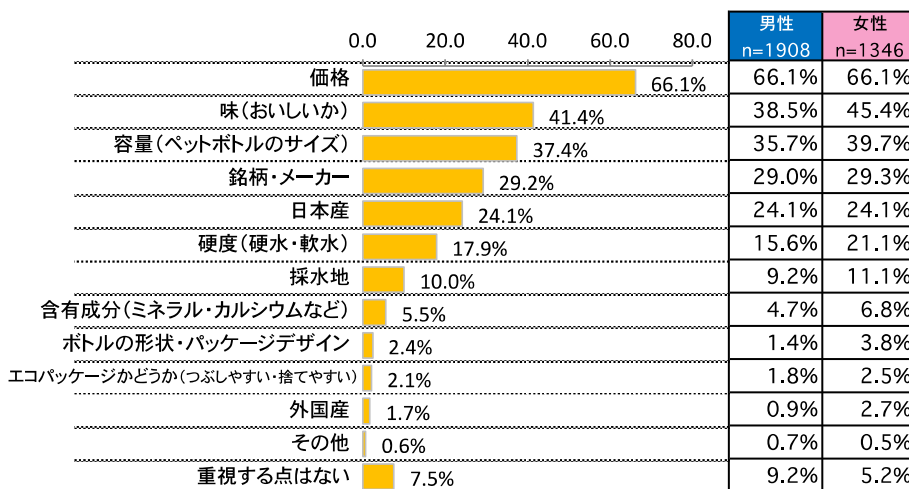


「ストックしている」と答えた人は44.1%と半数弱という結果になりました。さらに、12L以上を備蓄している世帯は、50代以上世帯で約半数。若い世帯は半数を切っています。

一般的に、非常時に必要な飲料水は、「一人当たり1日約3Lで3日分」と言われています。世帯の人数にもよりますが、このデータだけを見ると、十分な量と言えないことがわかります。大震災の教訓がありながらも、ストック場所といった住宅の問題やミネラルウォーターの消費期限などの問題で、必要な量がストックできていないという現状が見えました。

表 5:「あなたのご自宅では、飲料水を非常時の為にストックしていますか」についての回答

■水を選ぶときは、何と言っても価格重視



では、ミネラルウォーターを購入する際に、何を基準にしているのか聞いてみました。

一番多かった意見は、「価格」で66.1%。次いで「味(おいしいか)」が41.4%、「容量(ペットボトルのサイズ)」37.4%という回答でした。

ミネラルウォーターは、消耗品ゆえに、成分や硬度よりも価格を重視する傾向にあるようです。また、味も重要なポイントのようで、「いつも決まったものしか買わない」という人が多いのも、ミネラルウォーターを購入する際の特徴といえるかもしれません。

表 6:「購入する際に重視する点は何ですか」についての回答

■ 売れ筋上位には、国産でかつ安価な水がランクイン

購入個数順位	メーカー	商品名	リピート率
1	サントリー	サントリー 南アルプスの天然水 ペット 2L	35.08%
2	アサヒ飲料	アサヒ おいしい水六甲 ペット 2L	31.38%
3	日本コカ・コーラ	コカコーラ いろはす ペット 555ml	17.16%
4	麒麟ビバレッジ	アルカリイオン水 2L	35.43%
5	サントリー	サントリー南アルプスの天然水手売用ペット550ml	17.40%
6	ポッカサッポロフード&ビバレッジ	Contrex ペット 1.5L	39.86%
7	緑茶流通事業協同組合	グローブ 郷の溪流天然水	38.81%
8	サントリー	サントリー 奥大山の天然水 ペット 2L	29.95%
9	サントリー	サントリー 南アルプスの天然水 ペット 2L×6	31.75%
10	アサヒ飲料	アサヒ おいしい水六甲 ペット 600ml	18.08%

(注)カスタマー・コミュニケーションズ株式会社が構築・運用する購買行動全国パネルデータ「TRUE DATA」を使用。全国ドラッグストア600万人、食品スーパー250万人の購買履歴および個人を特定しない性別・年齢等の消費者属性情報を市場インデックスデータに加工、提供。ドラッグストアでの水カテゴリにおける2015年3月から2015年5月までの購入個数順位を表示。

カスタマー・コミュニケーションズホームページ: <http://www.truedata.co.jp/>

また、水の成分にこだわって購入していると思われる硬水「Contrex」については、喉を潤すというよりも、健康・美容アイテムとして飲料しているためにリピート率が高くなっているのではないかと推測されます。

■ 毎日飲むものだから! 水へのこだわりは十人十色

最後に、水道水やミネラルウォーターのこだわりの利用方法について聞いてみました。毎日使うものなので、こだわり方もバラエティ豊かです。

「水道水・ミネラルウォーターなどの「こだわりの利用方法」があればご記入ください」についての回答

- ・イタリア料理には炭酸水を使う。
- ・シチューなどの肉煮込み料理には硬水を使用する。
- ・氷を作るときは菌が入るのであえて水道水でつくる。
- ・体調が気になった時は、硬水を飲むようにしている。
- ・インターネットでいろんな日本各地のお水を買って飲み比べるのが楽しい。
- ・自然の湧水を県外まで汲みに行っている。
- ・いいお茶の葉を使うときは水にこだわる。
- ・お米をとぐとき6回ほど水道水を使うが、最後のすすぎは浄水を使い、炊くときも浄水を使っている。
- ・ペットの飲料用にも使用しているので、pH6.5以下でミネラル含有量が少ないものを購入している。

飲料水(ミネラルウォーター)と熱中症に関する調査はいかがでしたか? 残暑厳しいこの季節を乗り切るためには、こまめに水分補給することが不可欠です。水道水派もミネラルウォーター派も、ライフスタイルや体調に合わせた飲料水をセレクトして、暑さに負けない潤った体をキープしたいものですね。

株式会社プラネットとは

メーカー、卸売業、小売業がサプライチェーンとして連携し、生活者へのサービス向上を目指して進化を続ける日本の消費財流通を、情報インフラとしてサポートしている企業です。

From プラネットとは

消費財流通における業務効率化を支えるEDI(電子データ交換)やデータベースサービスを提供する株式会社プラネット(東証JASDAQ上場、証券コード:2391)をご紹介します。旬の消費財にまつわるトピックスです。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社プラネット 管理本部 経営企画部 (小中、岡田)
Tel : 03-5962-0811 / E-mail : keiei@planet-van.co.jp

次に、実際に売れているミネラルウォーターのランキングをみてみましょう。トップ10に入っている商品は、ほとんどが2Lの商品でした。これは、前質問の購入重視ポイント「容量(ペットボトルのサイズ)」と一致した結果となっています。「価格」についても、スーパーやドラッグストアで比較的安価に購入できる商品がランクインしており、やはり前質問の内容と一致しています。